

M-7 農鳥岳 (3,026m)

【山行日】2022年8月2日～4日

【CL】2836 【SL】2802

【参加者】2517 2565 2720 2829 3009 3592 3639 3693 3795

【コース】広河原登山口 8/2 12:15・・・15:30 白根御池小屋(泊) 8/3 6:00・・・北岳 10:40・・・間ノ岳 14:50・・・16:20 農鳥小屋(泊) 8/4 5:00・・・7:00 農鳥岳・・・9:00 大門沢下降点・・・大門沢小屋 11:00・・・15:00 奈良田

毎年計画してチャレンジしていたが、天候にめぐまれず3年目の挑戦であった。

参加者は3592さんを除いて9名は初めてのメンバー。コロナの影響もあり登山者は少なかった。(タクシーの配車係が駐車場にいるのだが今年は無)

広河原へは山梨交通のバスで出発。バスガイドさんのいる懐かしい感じでメンバー感動！ガイドさんの楽しい説明を聞きながら広河原に到着。広河原山荘が新しくなっていたが、登山者はまばらであった。旧山荘前のベンチで昼食をとりあえず食べ、白根御池小屋を目指して涼しい大樺沢を登る予定だったが、橋が壊れて閉鎖されていた。小屋までの直登ルートをとった。

2日目、晴天に恵まれて北岳山頂がくっきりと見えた。小屋からは1000mの登りだ。北岳肩の小屋(3000m)を10時に通過。10時40分ついに山頂へ。やっと間ノ岳、農鳥岳が展望できた。

今日の目標は間ノ岳の向こう側の農鳥小屋だ。3000mの稜線をアップダウンを繰り返しながら間ノ岳を越え、農鳥小屋に16時20分到着。親父さんに挨拶した。(楽しみにしていたのか、心配してくれていた。)



写真1

夕方、富士山がガスの中から夕日を受けて少しだけ輝いているのがみえた。幻想的だった。

食事はいつもの粗食だが、1棟貸し切りにしてくれた。明日の出発はと聞かれ、4時と答えたがOKとのこと(親父さんはそれがいいと言ってくれた。)小屋よりくっきりと農鳥岳、西農鳥岳の美しい山頂部を見ることができた。でも後で4時30分がいいと言ったら、早いほうがいいぞ、天候が下り坂だからと親父さんのアドバイス。いつもお世話になっている。

農鳥岳は百名山ではないが、楽しい山だ。山行は中々難しい。とにかく2日かかる。そのうえアップダウンが大きい。でも日本の標高第1,2,3位の山を見ながら稜線を歩くことができる素晴らしいところだ。(写真1)

3日目、小屋を5時に出発。これまで全員けがもなく来れた事に感謝。農鳥岳には2つの山頂があり、小屋からまず西農鳥岳(3051m)に登頂してさらに小さいピークを越えて農鳥岳(3026m)へ。途中、正面に見える塩見岳山頂から虹が出ていて、全員感動に包まれた。



7時、農鳥岳山頂到着。やっと来られた感じ(コロナで3年ぶり。)これから先は標高差2000mをひたすら奈良田登山口を目指し7時間かけて下った。

11時に大門沢小屋、奈良田登山口には15時到着した。全員無事を確認し15時30分、温泉目指して奈良田を出発。名古屋に20時到着。3日間フルの山行だった。(2836)